

リオ五輪 出場決定!!

伊勢田 愛 選手

びわこ成蹊スポーツ大学大学院
スポーツ学研究科 1年次生

ウインドサーフィン

セーリング女子RS:X級



リオ五輪競技日程
8月8日(月)、9日(火)、11日(木)、12日(金)
決勝：8月14日(日)

びわこ成蹊スポーツ大学大学院スポーツ学研究科1年次生の伊勢田愛さんがウインドサーフィンでリオデジャネイロ五輪に出場が決定しました。伊勢田さんは高橋佳三准教授のもとで古武術を学び、効率の良い身体の使い方を知り、ウインドサーフィンにおける身体の使い方の変化について研究しています。リオ出発に先立ち、五輪への意気込みを語っていただきました。

Interview

ウインドサーフィンを始めたきっかけは？

実家がウインドサーフィンのショップで、将来は家業を継ぎたい、ウインドサーフィンを上手になりたいと思い始めました。

リオ五輪に決まったときの心境は？

全く実感がなく、「私が代表？」というような感じでした。でも応援してくれる人たちに良い報告が出来る事が嬉しかったです。

オリンピックでの目標は？

メダルを狙います。可能性がゼロでない限り目指します！

大阪成蹊学園のみなさんにメッセージを。

本番では笑顔で楽しみたいと思います。私のパワーの源はみなさんの応援です。応援よろしくお願いします！

皆さんにも笑顔をお届けできるようにカッコいい姿を見せたいと思います。



左から2番目が伊勢田さん

7月15日(金)にはびわこ成蹊スポーツ大学にて壮行会が行われ、約400名の学生、教職員が熱い声援を送りました。伊勢田さんのリオでの活躍を期待しています。

女子400m

優勝!!

日本陸上競技選手権優勝
関西学生新記録達成！
第100回日本陸上競技選手権大会

大阪成蹊大学 マネジメント学部
スポーツビジネスコース2年生

青山聖佳 選手



写真提供：月刊陸上競技

大阪成蹊大学女子陸上競技部の青山聖佳さん(マネジメント学部スポーツビジネスコース2年)が、6月24日(金)～6月26日(日)にパロマ瑞穂スタジアム(愛知県名古屋市)で開催された第100回日本陸上競技選手権大会において女子400mで53秒04の関西学生新記録を達成して優勝しました。

今年の抱負として「6月の日本選手権で優勝」を掲げていた青山さんが「有言実行」。昨年の世界陸上(北京)での女子4×400mリレー日本新記録、日本インカレでの3冠達成が自信につながり、日本選手権で実を結びました。青山さんも周囲からの期待を背負ったプレッシャーもあったかと思いますが、見事に優勝を飾り、創部5年目の女子陸上競技部の実力を全国にアピールしました。

昨年の大学入学時に故郷の島根県から大阪に来て初めての一人暮らしをスタート。生活面の変化もあり、新しい環境に慣れるまで時間もかかりました。しかし徐々に自分のペースをつかみ陸上競技に集中した結果、今回の日本選手権優勝という快挙を成し遂げました。



強化クラブ結果報告

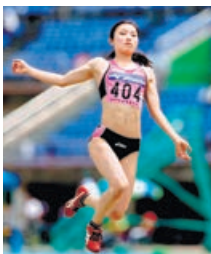
陸上競技部

5月12日(木)～15日(日)、ヤンマースタジアム長居・ヤンマーフィールド長居で開催された第93回関西学生陸上競技対校選手権大会において、本学女子陸上競技部が初の総合優勝に輝きました。400mでは青山聖佳さんが53秒07の関西学生新記録・大会新記録を達成して優勝し、女子最優秀選手に選出されました。



また、6月10日(金)～12日(日)、Shonan BMW スタジアム平塚で行われた2016日本

学生個人選手権では、女子走幅跳で末永成美さん(4年)が関西学生新記録となる6m24で優勝しました。



フットサル部

7月2日(土)、7月10日(日)に開催された第12回全日本フットサル大会大阪大会において優勝し、8月26日(金)～8月28日(日)に府民共済SUPERアリーナで行われる第12回全日本大学フットサル大会への出場が決まりました。



バドミントン部

4月13日(水)～20日(水)に開催された大阪学生バドミントン選手権大会では女子ダブルスの新木涼さん(2年)、伊藤菜奈美さん(2年)ペアが準優勝しました。また、男子シングルスで三宅航平さん(2年)が4位、女子シングルスで新木涼さんがベスト8の成績を収めました。



ソフトテニス部

4月13日(水)～20日(水)に開催された関西学生ソフトテニス選手権大会において、男子シングルスで芝井幸太朗さん(2年)がベスト8、男子ダブルスで芝井幸太朗さん、玉置弦也さん(2年)ペアがベスト16の成績を収めました。

バトントワリング部

6月12日(日)、日本バトン協会関西支

部主催の「第34回関西バトントワリングコンテスト」が大阪市中央体育館で開催され、下記の通り戦績を収めました。



澤谷奈海さん(4年) 中級ソロストラット 金賞・最上級ソロトワール 銀賞/平野菜奈子さん(4年) 上級フリースタイル個人 金賞/小原わかなさん(2年) 中級トゥーバトン 銀賞・上級ダンストワール 銀賞/木下水希さん(2年) 中級スリーバトン 金賞・上級ソロストラット 金賞/山本京香さん(2年)・上級ダンストワール 金賞/高橋一生さん(1年) 上級フリースタイル個人 金賞

大阪成蹊学園では、スポーツ&カルチャーセンターの強力な指導体制により、強化クラブの活動を支援しています。今後のさらなる各クラブの躍進にご期待ください。

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学の教育改革

大阪成蹊大学、大阪成蹊短期大学では、教職協働体制のもと、様々な改革を実行して参りました。その成果は、各学部・学科の入学者数や志願者数、偏差値、また、退学率や就職率、学生満足度といった形となっても表れており、多くの教職員がこれまでの教育実践や学生支援に対する確かな手応えを感じています。

近年、大学や短期大学に対しては、質の保証が問われています。本学においても、教育の質をさらに高め、「人間力」を備えた多くの卒業生を社会に送り出すことができるよう、教育改革に取り組んでいます。今回のWAVEでは、本学園の教育改革の取り組みについて分かりやすくご紹介いたします。

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学の教育の基本方針

大阪成蹊大学、大阪成蹊短期大学では、「桃李不言下自成蹊」を建学の精神としています。「桃や李は何も言わないが、その美しい花や実には自然と小道(蹊)ができる」という意味です。このように徳があり、人に慕われ、信頼される人を育てることを教育の基本目標に掲げてきました。一言で表わせば『『人間力』のある人』です。

—「人間力」のある人—

- 1 強い身体・柔軟な心を持ち、生命力豊かな人。
- 2 「読む」「書く」「聞く」「話す」などの基礎能力を十分保有している人。
- 3 人と円満に接しつつ、かつ迎合しない主体性・独自性を持っている人。
- 4 世界を鳥瞰し、広く大きく物事を捉えた適切な価値判断や問題解決ができる人。
- 5 強い好奇心や向上心を持ち、劣悪な環境をも克服する強い心を持つ人。
- 6 人に対する深い理解と忠恕の心を持ち、人との絆を大切にする人。

こうした人こそが、周囲の人々から信頼を集め、また、世の中を力強く生き抜くことのできる「人間力」を備えた人であると考えています。また、大阪成蹊大学及び大阪成蹊短期大学で展開する学びの種類は、非常に多彩であるとともに、社会と密接に関わる専門性を身につける学びがほとんどです。そのため、卒業後、社会人として、学びの専門性を活かして社会で活躍するために必要な能力を、(1) 確かな専門性(幅広い教養と、専門的な知

識・技能をしっかりと身につけている人)(2) 社会で実践する力(人々や社会が抱えている課題を発見し、解決に向けて行動することができる人)(3) 協働できる素養(何事も一人でではなく、周囲の多様な人々と協力して、取り組むことのできる人)(4) 忠恕の心(どのような時も、人の立場に立って考え、行動できる思いやりを身につけている人)であると考えました。このように、本学の教育課程を通して養う「人間力」を明確にすることから、平成28年度の教育改革がスタートしました。

教育の基本方針となる「3つのポリシー」

「3つのポリシー」とは「ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)」「カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)」「アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)」のことで、「どのような教育を行うのか」、「どのような資質・能力を持った入学者を求めるのか」という教育の基本的な方針を示したものです。本学園では従来のポリシーを再度検証し、大学・短期大学全体のポリシーと、学部・学科のポリシーを新たに策定しました。各校の3つのポリシーでは、広く社会で活躍できる「人間力」を備えた人材の育成を目的として、それを実現する各学部・学科のカリキュラムの特色や、アクティブラーニングやPBL(課題解決型授業)等の授業方法の特色について示すとともに、本学で学ぶために必要な入学者の資質・能力を明確にしています。

高校生や在学生、保護者、教職員等、誰にでも分かりやすく本学の教育の基本方針が伝わるようにポリシーを示しています。ホームページに公表しておりますので、是非ご一読いただきたく思います。

教育改革の推進

平成28年度に取り組む教育改革テーマとして以下の15のテーマを掲げるとともに、16のプロジェクトチームを編成して、教育改革を進めています。それぞれのテーマに対して、本学がどのような改革をめざしているのかについて簡潔にご説明し、皆様のご理解を得られればと思っております。

「アドミッション・ポリシーと入試方法の整合」では、入学後、本学で学び、成長していくために必要な資質を受験生が身につけているかどうか、適性をより適切に判断するための入試方法を検証・開発しています。「初年次教育の確立」では、高校生から大学生へスムーズに意識を切り替えて、卒業までの4年間(2年間)学んでいく上で必要となる能力を身につけられるよう、改めて初年次教育を構築しています。また、「キャリア教育の確立」では、単なる就職試験対策をするような科目ではなく、卒業後社会人となり、確かなキャリアを形成していく上で本当に必要となる知識や能力を身につけられるよう、キャリア教育の授業設計や科目間のつながりについて見直しています。また、地域の様々な企業や地方自治体等と連携した授業の充実もめざしており、学外の人々とのやり取りの中で実践的な学びを深めていくことができるよう「学外連携授業の推進」を行っています。さらに「専門演習・卒業研究指導の充実」では、少人数ゼミ形式で、各教員の専門に応じてきめ細かな指導を必要とする授業について、学びの集大成として最終学年で取り組む卒業研究の質をさらに高めることのできるような指導体制を充実していきます。このように様々な授業がありますが、それぞれがしっかりと結びつくカリキュラムとなっているかを常に検証できるよう「教育課程の見直し」にも取り組みます。

本学の教育の大きな特徴の一つが、学生の能動的な学びや、教員と学生、学生同士の双方向のやり取りを重視するアクティブラーニングですが、より一層の授業方法の開発や授業力向上のための教員研修など「アクティブラーニングの推進」を行っています。また、シラバスはすべての授業の基本となるものですので、読むだけで、学生がどのような授業がイメージできるより分かりやすいシラバスとな

るよう、今年度も「シラバスの一層の充実」に取り組めます。その上で、「適切な成績評価の実施」をめざして、成績評価にあたってのより具体的な評価指標づくりや、「学修成果を発揮する機会の充実」として、学修の成果を様々な人々に対して発表する機会の充実にも取り組みます。そのほか、前期及び後期の授業終了時には、授業評価アンケートを実施していますが、授業に対する学生の満足度の把握や、授業方法の改善に向けて「授業評価アンケートの活用」をより適切に行えるよう、アンケートの設問や活用体制の見直しを行っています。本学には、非常に優れた授業実践をされている教員が多くおりますので、積極的な「教員表彰の実施」により、各教員の授業力の一層の向上をめざします。

その他の重要な改革

科目の内容によっては、学外の先生に非常勤講師として授業を担当してもらうこともあります。学外から来られる先生に対しても、よりよい授業をしていただくため「非常勤講師との連携強化」を推進していきます。

「正課外での学修環境の充実」では、授業環境や授業時間外での学修サポート体制の見直しを行い、学生にとってより学びやすい学修環境を整備していきます。「学園ブランド力向上運動の深化」では、これまでのマナー運動の継続的な実施によって、挨拶が溢れるキャンパスとなり、マナーを守ることへの意識の高い学生が多く育っています。今後、一人ひとりの学生が、「自己の品位をマネジメントできる人」となることをめざした取り組みを推進していきます。

おわりに

本学の学生が卒業後、「人間力」を備えた人として、多くの人の信頼を集め、社会で活躍する姿を思い描いて、日々の教育や教育改革に取り組んでいます。一人でも多くの立派な卒業生を社会に送り出せるように、また、大阪成蹊学園を支えてくださる多くの方々の期待に一層応えられるように、今後とも教職員一丸となって教育改革に取り組んでまいりますので、教育面での発展にも、大いにご期待ください。

語と専門の学びがリンクしてきている様子です。また、「Active English」は、スマートフォンを使ってどこにいても学習できるため場所を選ばず予習・復習ができるだけでなく、教員も学生の学修履歴を把握できるため授業での指導も、これまでより更に効果的かつ質が高いものとなっています。

その結果、中間試験などの結果を見てみると入学直後と比べて「英語を聴く力」に確実に向上が見られ、学生自身の学修成果の実感にもつながることを確信しています。

「Active English」の教材について簡単に紹介します。

たとえば下の写真の楽器は、幼稚園、保育園で必ず使われるものですが、それを英語で表現すると、なんと言うのでしょうか？



「Melodion」「Pianica」はいずれも登録商標で商品名にあたりますので、正しくは「Keyboard harmonica」です。簡単な単語でも実はその英語表現を知らないことがあります。それを知っていることで、外国人の園児にも楽器やおもちゃの使い方を伝える時に、円滑にコミュニケーションがはかりやすいのではないのでしょうか。

次に、お月見をテーマにしたテーブルセッティングの写真をご覧ください。幼児教育学科の学生なら「月で餅つきをするウサギの物語」を、観光学科の学生なら「お月見の観光スポット」、調理・製菓学科の学生なら「秋の味覚を楽しむお料理」「月見団子の作り方」、グローバルコミュニケーション学科の学生なら「中秋の名月という行事の由来」などを表現するでしょう。



中秋の名月(観月の会)

Moon watching

Chushu-no-meigetsu(harvest moon) is a beloved sight around mid-September. The full moon appears brightly in the clear sky. Osawa-ike, which is a pond in Daikaku-ji temple in Kyoto, is a famous place for Moon observation.

9月の中旬に澄み切った夜空のなか明るく輝く月を鑑賞します。京都の大覚寺の大沢の池は観月の名所として有名です。

観光学科の学生の表現

このように専門性にあった表現を積み重ねていきます。

社会が求める「グローバル化に対応した人材」を育成するための「Active English」を短期大学全体をあけて、今後にもさらに進化させていきたいと思っています。



大阪成蹊短期大学

英語と笑顔が飛び交うActive English

本学では、専門性の高い職業で活躍できる学生の育成を教育目標とし、それを英語で表現する学習を進めています。現代社会はグローバル化が進行するなか、専門職における英語でのコミュニケーション力がますます必要とされています。そこで、短期大学の2年間で専門教育と専門職に必要な英語力を習得できるように、専門科目を担当する本学教員が英語教材作りに挑み、東北大学 高度教養教育・学生支援機構の橘 由加教授(Web教材「Linc English」の開発主幹)の支援を得て、「Linc English」の本学用のカスタマイズが実現しました。



大阪成蹊短期大学では平成28年度より、専門科目に関連させたオリジナル教材を使用した、「Active English I・II」を開始しました。

大阪成蹊短期大学 教授 小関佐貴代

本学には「幼稚園や保育園の先生」「パティシエ」「シェフ」「栄養士」「日本語学校の先生」「旅行プランナー」など、なりたい自分になるための様々な希望を持った学生が多く入学しています。そして入学するとすぐに授業が始まり、多くの専門科目や一般的な教養科目を学びます。そしてそのひとつに、「英語」の授業も含まれています。昨今英語を苦手とする学生も多いですが、本学の約750名の新入生たちは「Active English」を使って、ネイティブの発音と速さで進む英語の聴き取りから始め、話す力へと英語の学びを発展させています。「Active English」は専門科目に関連した教材設計なので、他授業での調理実習で学んだ「鰯の三枚おろし」について先生に説明したり、幼児向けの英語の手遊び歌を楽しむように全身で表現したりするなどして並行して学んでいる専門科目での経験と英語を関連付けたり、また反対に、「Active English」で学んだ食材名を専門科目の授業で英語で答える場面が見られるなど、英

大阪成蹊大学 マネジメント学部 スポーツマネジメント学科

大阪成蹊短期大学 調理・製菓学科、栄養学科、生活デザイン学科

平成28年
4月4つの学科・コース新設で
さらに多彩な28種の学びへ大阪成蹊大学
マネジメント学部スポーツ界の発展を支える人材を
育てるスポーツマネジメント学科
を開設

大阪成蹊大学では、マネジメント学部
にスポーツマネジメント学科を新設しま
した。大手スポーツ関連企業への学外
フィールドワークや、国内外の最先端の
スポーツビジネス現場への調査研究を通
して、スポーツ産業で活躍するための実
践力や課題解決能力を身につけること
ができるのが大きな特色です。また、「専
門インターンシップ」の授業では、ミズ
ノや加茂商事などのスポーツメーカーか
ら、セレッソ大阪、京都サンガなどのス
ポーツ団体まで、関西から世界のスポ
ーツの発展を支える様々な企業や団体
で実際の仕事を経験することができます。
さらに、「スポーツマーケティング」などの
多くの講義系の授業でも、マーケティング
の実践例から、スポーツ消費者行動や販
売促進への理解、立地や価格などの戦
略への理解を深めたうえで、学生が自
らマーケティングプランを立案するなど、
知識を身につけるだけではなく、企画
の立案までできるようになる授業を展
開しています。こうした授業を通じて、
これからの日本のスポーツ界の発展を支
えることができる人材を育成していきま
す。

大阪成蹊短期大学

学科を新たにしてスケールアップ

平成28年4月から、大阪成蹊短期大
学に3学科を新設し、7学科14分野へ
と学びの幅を広げました。日本一の規
模を誇る総合短期大学として、専門性
の高い職

業で活躍できる「人間力」を備えた人
材を育成するために、さらなる発展を
めざしています。

専門性をより深める
新設3学科の学び

生活と密接に関わる「衣」「食」「栄
養」の学びの専門性をより深めたい。
そんな想いで、生活デザイン学科、調
理・製菓学科、栄養学科の3つの学科
を新たに開設しました。

生活デザイン学科では、ファッション
デザイナーやコーディネーター、ス
タイリスト等に必要な知識と感性を
身につけるカリキュラムを用意すると
ともに、専任教員の増員も行うこと
でよりきめ細かな教育を行えるよう
にしています。また、調理・製菓学
科では、調理、製菓、フードコ
ーディネートの3つのコースを設
け、免許・資格を取得し、卒業後、
現場で活



調理コースのレストラン実習では、下準備から料理のサブ、後片付けまで学生が行い実践的な力を養います。

躍できる確かな専門性を身につける
ことのできるカリキュラムを用意して
います。特に製菓コースでは、製菓
衛生師資格の在学中の取得を可能に
するとともに、最新の施設・設備を
導入した製菓実習室を新設しています。
栄養学科では、栄養士・栄養教諭に
求められる専門的な知識や技術、教
養を確実に身につけられるようなカ
リキュラムを用意しています。

PICK
UP

製菓コース(調理・製菓学科)

今回新たに加わった学びの製菓コースについて紹介します。

“なにわの名工”にも選ばれた
パティシエが先生に!

平成27年度大阪府優秀技能者「なに
わの名工」(洋生菓子製造工)として表
彰された沖忠浩准教授から、生菓子、
焼き菓子、チョコレート等さまざまな
ジャンルの製菓技能を学ぶことができ
ます。

全面大理石の作業台など
充実の製菓実習室

平成27年7月に完成したばかりの製菓実習室には、全面が大理石
になっていて複数人でも使用できる
広い作業台や、チョコレート保温器
などの充実した設備が揃っています。

西日本初の「バッケンスルーオー
ブン」を使った本格的な実習

全国の有名菓子店やパン屋で使用
されている「バッケンスルーオーブン」。
西日本の製菓衛生師養成施設では初
の導入となるこのオーブンは、窓が
大きく、生地が焼ける様子や膨らむ
様子を確認しながら作業を進めるこ
とができるのが特徴です。

資格取得 奨学金制度 が始まりました

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学で
は、大学生・短大生にとって資格を取
得することは、学びの習熟度を測るも
のであり、また卒業後の進路選択のき
っかけや、就職活動等キャリアアップ
に役立つものと考えています。

教育研究支援センターでは、学生が
資格取得に積極的に挑戦できるよう、
様々な支援に取り組んでおり、今年度
より、指定の資格・検定試験に合格
した学生に対して、受験料の半額もし
くは全額を還付する資格取得奨学金
制度を開始し、より一層学生の皆さ
んの資格取得を推奨しています。この
奨学金は平成28年度内に受験し、合
格した学生に対して給付されます。



対象資格(例)	
資格・検定試験	奨学金
秘書検定準1級	4,900円
サービス接客検定 準1級	1,950円
日商簿記検定 2級	4,630円
日商簿記検定 3級	1,285円
色彩検定 2級	5,000円
TOEIC IPテスト (スコア650以上)	4,155円
日本語能力試験 N1	5,500円
Illustratorクリエイター能力認定試験エキスパート	6,900円

また、例年開催している資格取得サ
ポート講座も好評です。外部の専門講
師を招いて開催される講座は、学内
で開催されるため利便性が高いこと、
また受講料の負担も少ないことから、
毎年多数の学生が受講しています。

是非これらの制度を活用し、様々な
資格にチャレンジしてください。

今年度はさらに講座数を充実し、開
催されるサポート講座が一目でわかる
パンフレットも作成しました。

平成28年
4月

ラーニングコモンズが開設しました

平成28年4月から、大阪成蹊大学・大
阪成蹊短期大学図書館棟の3階ラウン
ジに「ラーニングコモンズ」を開設し
ています。学生の皆さんの授業時間外
での多様な学びをサポートする場所
で、「①学修に関する相談が気軽にで
きる」「②タブレットを活用して自
習や集団での学修ができる」「③学
びを深めることのできる様々な企画
が開催されている」という3つの役
割を担うことを基本としています。開
設から3ヶ月が経ち、延べ約900名
の学生が利用しています。

学生の皆さんが授業時間外でも学
びを深めることができるように実施
しているプログラムをいくつかご紹介
します。「キャリア基礎講座」は、多
くの企業で入社試験の際に用いら
れているSPIテストの問題に取り組み
ながら、社会人となる上で必要な
言語・非言語能力を伸ばす講座で、

4月25日からマネジメント学部の1
年生が全8回のプログラムに毎週参
加しています。中には講座の時間が
終わっても残って自習したり、教え
合ったり、多くの学生が熱心に学
習しています。また、名作映画を鑑
賞して生きた英語表現を身につけ
る「シネマで週1 English」、プレ
ゼン資料やレポート作成に役立つパ
ソコンスキルを身につける「いまむ
ら君のPC教室」、経済の疑問を優
しく解説する「やさしい経済教室」
などを開催しています。さらに、7
月からは就職活動を控えた学生、
後期の授業開始後は短期大学の1
年生を対象とした講座も開催して
いきます。

今後もより多くの学生が利用し、
授業時間外での学びを深めること
ができるように、企画内容やサポー
ト体制等に工夫を凝らして参ります
ので、ラーニングコモンズの充実
にご注目ください。



びわこ成蹊スポーツ大学

地域貢献事業の一環として春の公開講座を開催

元オリンピックコーチによる 水中ウォーキング教室

今年で8年目になる水泳部(競泳)監督の白木孝尚准教授の公開講座は、今



年も約20名の老若男女が参加し、熱心にそして楽しく受講されました。北京オリンピックで競泳日本代表チームのコーチとして関わった経歴がある白木准教授の指導はわかりやすく、人気の講座となりました。

キッズ水泳教室

水泳部(競泳)コーチで本学職員の波多遥氏が担当する、幼児(4歳児～5歳児)を対象としたキッズ水泳教室が8回のプログラムで行われました。水に慣



れ親しみ、水中で楽しく遊ぶことによって水を好きになってもらうことからスタートし、最後の回が終わる頃には、多くの子どもたちが泳げるようになりました。この教室は水泳部の学生もサポートで参加しており、子どもたちへの指導が学生たちにとっても良い経験の場となっています。

このほかにも地域貢献事業の一環として、本学のスポーツ施設を利用したランニング教室やアクアビクス教室など様々な教室を開催しています。

佐々木則夫氏が 特別招聘教授に就任



これまで本学客員教授であった佐々木則夫氏が「特別招聘教授」に就任しました(6月1日付)。同氏の持つ世界水準での貴重な経験をもとに、男女を問わずサッカーに関する特別授業や課外活動における指導支援など、スポーツによる教育効果の向上に携わっていただきます。

<略歴>

1979年 明治大学卒業
2006年 日本サッカー協会日本女子代表コーチ就任
2008年 同 代表監督に就任
2011年 FIFA女子ワールドカップ ドイツ2011 優勝
2012年 ロンドンオリンピック 銀メダル
2013年 本学客員教授に就任
2014年 AFC女子アジアカップ 優勝
2015年 FIFA女子ワールドカップ カナダ2015 準優勝
2016年 日本サッカー協会日本女子代表監督退任
2016年 本学特別招聘教授に就任

<受賞歴>

国民栄誉賞(サッカー日本女子代表)
紫綬褒章(サッカー日本女子代表)
AFC最優秀監督賞 他多数

クラブ活動報告

サッカー部(男子)

2016年度第45回関西学生サッカー選手権大会で最終結果が第4位となり、8月6日(土)から開催される「2016年度第40回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント(4年ぶり2回目)」に出場します。



ウェイトリフティング部

5月に行われた平成28年度第30回全日本女子ウェイトリフティング選手権大会69kg級において、本学1年次生の中嶋さやかさんがスナッチ75kg、クリーン&ジャーク98kg、トータル173kgで5位に入賞しました。「レベルの高い試合の中でも、緊張せずにのびのびと試技が出来た。」と中嶋さん。今後のさらなる活躍が期待されます。



大阪成蹊大学 芸術学部

JR西日本『大阪環状線改造プロジェクト』との 産学連携事業報告

芸術学部造形芸術学科長・教授 門脇英純



大阪成蹊大学芸術学部ビジュアルデザインコースでは、企業の課題を解決する「課題解決型デザイン学修」を2年後期に授業として配置しています。今回、西日本旅客鉄道株式会社(略: JR西日本)『大阪環状線改造プロジェクト』が進める桃

谷駅改良のコンセプトと、本学園の建学の精神が「桃李不言下自成蹊」であることをきっかけに、産学連携事業を行ってきました。

学生が8グループに分かれ、桃谷駅の工所用仮囲いを活用した「桃谷の魅力



伝える」ポスターを企画しました。オリエンテーションから、駅周辺や商店街などでの調査・取材、2回のプレゼンテーションを経て、最終的に3グループの案が採用となりました。

ポスター企画という課題でしたが、「桃谷の魅力伝える」というテーマから、単発のポスターデザインでなく、テーマ性のある連続企画や、WEBでの広報、SNSを活用した展開などの提案までを行い、JR西日本の担当の方々から高い評価をいただきました。

採用された3グループのポスターの展示は、桃谷駅工所用仮囲いアート企画「桃谷アートミュージアム」として、桃の節句である3月3日(木)より行われました。また、初日の3月3日(木)には、オープニングイベントが開催され、JR西日本より学生たちに感謝状と記念品が授与されました。授与式の終了後には、学生た



ちは桃谷駅前商店街キャラクター「ももたん」とともに、「桃の節句」にちなみ、桃谷駅ご利用のお客様に、桃谷駅シンボルフラワーである桃の花(切り枝)を配布しました。

駅をご利用のお客様は、ポスターの掲出により、いつもとは違った駅構内をゆっくりと眺め、学生たちの制作したポスターに興味深く観覧していました。企業との連携により実社会に根ざした学びが獲得できました。

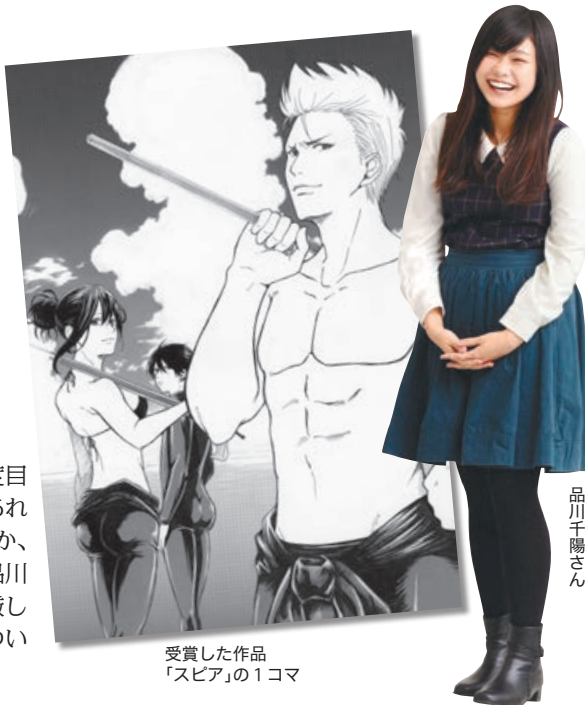


品川千陽さん

小学館月刊少年サンデーで 新人賞佳作を受賞!

大阪成蹊大学芸術学部マンガ・デジタルアートコース3年生の品川千陽さんが、大手出版社である小学館月刊少年サンデーにて作品「スピア」で新人賞佳作を受賞しました。品川さんを指導している野口周三教授に今回の受賞についてメッセージをいただきました。

品川さんがマンガの新人賞に応募するのは今回が3度目でした。しかし過去には2度落選しています。通常であれば精神的に落ち込んで、次の作品を描く気にならないか、描くまでかなりの時間を要することとなりますが、品川さんの場合、すぐに次の作品に取り掛かり、編集部への厳しいチェックを乗り越えた上で作品を完成させ、この度ついに佳作を受賞しました。



受賞した作品
「スピア」の1コマ

品川さんは、他のどの学生よりも、「マンガ家になる」という意思が強いと感じています。だからこそ、私も多くの時間を使って彼女を徹底的に指導してきました。プロになるために、時には厳しい意見や耳の痛いことを言うこともありますが、品川さんはそれを承知の上で、精一杯の努力で応えてくれています。

今後の品川さんの目標は、さらに大きい賞を目指しつつ在学中にマンガの連載を始めることです。その目標に向かって彼女はすでに次作に取り掛かっており、夏頃の完成が待ち遠しいです。

最後に、品川さんのコミュニケーション力について記載しておこうと思います。品川さんはどんな人とも屈託なく話ができる稀有な才能を持っています。マンガには関係ないと思われがちですが、そんなことはありません。マンガは編集者と二人三脚で作上げるものです。そのため、自分がやりたいこと(作品)を編集者に理解してもらいながら、面白い作品に繋げられるかが重要です。品川さんは編集者とうまくコミュニケーションを取り、自分の望む方向へ誘導し、結果に繋げています。彼女を指導している私も、指導しているように見えて、実は品川さんの望む方向へ誘導されている一人なのかもしれません。



大阪成蹊女子高等学校

女子高校No. 1の入学者数と グローバルなキャリア教育の充実



修学旅行 アメリカ/UCLA

大阪成蹊女子高等学校は、大阪府内の女子高校で5年連続志願者数・入学者数(内部進学を含まない進学者数)ともNo. 1の快挙を達成し、今年は688名の入学者を迎え入れました。

近年の大阪府下女子高校は少子化や共学化の影響もあって、年々減少してきています。今年の大阪府下女子高校21校のうち13校は、入学定員に満たない状況であり、来年には2校が共学化する予定になっています。そうした中で本校のみが大幅に入学者数を増やしています。



修学旅行でのセーヌ川クルーズ(フランス)

全国的な少子化の下で多数の入学者を迎えられたということは、これまでの大阪成蹊女子高等学校の学びの積み重ねの成果とともに、多くの入学者があっても1クラスの生徒数を平均40人未満に抑えきめ細やかな指導がなされていることなど、受験生や保護者のみなさんからとても大きな信頼を得ているからだと言える

と思います。多様なコースを持ち一人ひとりの個性を輝かせる学校、併設大学・短期大学があり安心感のある学校、きめ細やかで面倒見のよい学校など従来からある魅力を今後も重視して取り組みたいと思います。

さらに「行ってよかった学校、行かせてよかった学校」となるように、大阪成蹊女子高等学校は常に前を向き、生徒の皆さんに寄り添いつつ、時代の流れを敏感に見極めながら教育活動を行ってまいります。

従来からの多様な5コースの展開、グローバルなキャリア教育の推進に加えて、今年度から大阪府下の私学では初となる専門学科としての美術科の設置、さらなる国際交流の推進と使える英語力の向上を図っていきます。

国際交流の一例 台湾・金陵女子高級中学との交流

5月11日(水)、台湾の金陵女子高級中学(中高一貫校)から32名の生徒と2名の教員が来校されました。

朝、バディ生徒(お世話係)と多くの教職員が一行を迎えました。授業見学の最中、たまたま音楽の授業で本校の校歌の練習をしていました。驚いたことに、それを見た台湾の生徒たちは自主的にアカペラで金陵女子高級中学の校歌を合唱し、

相互に校歌での交流が進みました。第二体育館で行った歓迎セレモニーは、ウェルカムスピーチ、記念品交換、バトン部や吹奏楽部演奏、本校バディ生徒による英語での学校紹介など全て英語で行いました。

昼食ではサンドイッチとともに、大阪の「粉文化を学ぶ」という意味もこめ、校長によるたこ焼きの実演指導を行い、台湾の生徒たちにも楽しく大阪の文化を体験してもらいました。

昼からはバディ生徒とともに、市内の見学や買い物等で楽しみました。たった1日の交流でありながら、別れの際には涙ながらに名残を惜しむ生徒たちが多く



台湾から金陵女子高級中学の学生が来校

使える英語力の強化

大阪成蹊女子高等学校では国際交流で役立つだけでなく、国際社会で通用するためにも「使える英語力」の一層の強化を図っています。

今年から従来の取り組みに加えGTECテストを活用した英語力アップ事業、海外研修と連動したTOEIC対策講座を展開します。GTECは従来の英検では「合格」「不合格」の判定しかでなかったところを、スコア制で英語力の到達度を測ることができます。1・2年生全生徒と3年生の内部進学者の希望者が受験し、毎年受験することで各自の英語力の伸びを確かめ、意欲的に英語力強化につなげていくことができます。また、オーストラリア語学研修とリンクして、校内でTOEIC講習及び検定を実施します。オーストラリアでのホームステイに備え十分な英語力を培うために、TOEICも意識しながらより実用的な英語力を身につけるようにしていきます。



生徒に人気のモーガン先生



ペリリッツの先生による英会話無料レッスン

従来からの使える英語の取り組みも好評です。2年生の10クラスでは、少人数展開での外国人指導者(ALT)によるリスニング・スピーキングの授業を展開しています。ALTのモーガン先生は、高い指導力に加え人柄も素晴らしく、生徒たちに大人気です。保護者の方からは、3年生になっても是非モーガン先生に教えて欲しいという熱烈な要望をいただいています。

また、学園として世界最大規模の英会話学校を展開しているペリリッツ社と提携した英会話無料レッスンが2年目を迎えています。昨年(3講座)の好評を受け、今年は、5講座を開講していますが、100名の募集に対し、280名もの生徒が応募し、生徒がいきなり英語に高い関心を持っているかがわかります。また、その中からより高度な検定試験であるGTECのスピーキングテストにも予想を超える多数の生徒がチャレンジしてくれました。

その他、キャリア特進コースではエバーノート社と提携し、タブレット型PCを用いた英語自主教材システムも開発しており、ICTを活用した英語の学びも展開しています。「大阪成蹊女子高等学校に来れば、もっと英語が好きになる」、そんな学校をめざします。

教育施設の充実

大阪成蹊女子高等学校にあこがれ、入学してきた生徒のみなさんの期待に応えるため、施設設備も充実させています。生徒数は多数であっても、1クラスあたりの生徒数は各学年とも平均40人未満に抑え、決して「詰め込んだ」教育はしていません。また、昨年度には高校本館棟の耐震化工事をスミック工法で行い(従来のX型ではなく、新しく見栄えも美しく優れた口の字型の工法)、安全で安心な場所として日々過ごせるように配慮しています。美術科は1年生4クラスですが、本格的な美術実習に備え第二美術棟(デザイン棟)を8月末の完成をめざして建設中です。また、1年生各教室に情報伝達をスムーズに行うとともにICT教育推進のためのネットワーク型テレビモニターの設置、第2体育館下のトイレの改修、教室の窓ガラスの一部透明化など、より快適に、より安全に、より効率的に高校生活を送れるよう施設設備を充実させています。



8月末に完成予定の第二美術棟(デザイン棟)

国際交流

中国
上海

華東理工大学と協定を締結

スポーツ科学分野での活発な交流に期待



華東理工大学での協定式

本学園の石井茂理事長、嘉田由紀子びわこ成蹊スポーツ大学学長らが2016年1月16日に中国・上海の華東理工大学を訪問し、大阪成蹊大学、びわこ成蹊スポーツ大学、大阪成蹊短期大学との協定式を行いました。

華東理工大学は15の学院を有し、24,700人の学生が学んでいます。今回、主に上海にある体育科学与工程学院と短期海外プログラムや交換留学、教員交流などを行うために協定を締結しました。



王学院院长 びわこ成蹊スポーツ大学を訪問時

特に体育科学与工程学院とびわこ成蹊スポーツ大学とは、スポーツ科学の分野で共通点が多いため、今後、活発な交流が行われます。

協定式の後には全員で体育科学与工程学院の施設などを見学しました。電光掲示板の歓迎のメッセージに迎えられながら、最新のスポーツ測定機器や広大な敷地を活かしたサッカー、バスケットボール、テニス、ゴルフの練習場などを視察しました。今後はクラブ活動での交流も期待できます。

2016年4月25日には、体育科学与工程学院 王学院院长をはじめ卓球のコーチが相川キャンパスとびわこ成蹊スポーツ大学を訪問されました。

相川キャンパスでは大阪成蹊大学、大阪成蹊短期大学の教室や実習室等の教育施設・設備等を視察していただきました。

びわこ成蹊スポーツ大学では、王院長がサッカー部の練習に飛び入り参加してシュートを決めるなど、互いに交流を深めました。

2016年9月には、華東理工大学から研究員も受け入れ、今後も両校の交流を進めていく予定です。

海外研修支援制度がスタート！

大阪成蹊学園では、国際社会で活躍する人材の育成を目的として平成28年度より「グローバル教育推進プロジェクト」を開始しました。

本制度は学生の豊かな国際経験と語学力の修得、キャリアと密接に関わる世界の最先端に触れる機会の提供、外国の文化、習慣、思考法を学ぶとともに異文化コミュニケーション能力の養成などをねらいとしています。アメリカ合衆国やヨーロッパなどへの研修の参加費を補助しますので、詳しくは各学校にお問い合わせください。

●大阪成蹊大学

成績優秀者に対する特別研修プログラム

プログラム内容	行き先	期間
集中語学研修プログラム	アメリカ合衆国等	3～4週間
海外協定校への単位互換留学プログラム	アメリカ合衆国 またはヨーロッパ	6ヶ月間 または1年間

海外研修プログラム(以下は一例です)

プログラム内容	行き先	期間
マネジメント学科観光ビジネスコース 「アメリカ旅行会社との就業体験によるグローバルな視点からの観光ビジネス理解」	アメリカ合衆国	8日間
芸術学部マンガ・デジタルアートコース 「世界におけるエンターテインメント分野の原点」	アメリカ合衆国	7日間
教育学部「海外教育演習：比較実践研修—オーストラリア(ケアンズ)における学校教育—」	オーストラリア	6日間

●大阪成蹊短期大学

成績優秀者に対する特別研修プログラム

プログラム内容	行き先	期間
アメリカ合衆国西海岸への集中語学研修プログラム	アメリカ合衆国	3週間

海外研修プログラム(以下は一例です)

プログラム内容	行き先	期間
食文化演習：イタリア研修～ローマ・ナポリ・シチリア～	イタリア	8日間
ハワイ語学研修	アメリカ合衆国	9日間

●びわこ成蹊スポーツ大学

海外研修プログラム(以下は一例です)

プログラム内容	行き先	期間
台東大学研修および台湾マリンスポーツ実習	台湾	1週間
ビクトリア大学研修およびオーストラリアスポーツ実習	オーストラリア	8日間 (予定)

●大阪成蹊女子高等学校

海外研修プログラム(以下は一例です)

プログラム内容	行き先	期間
台湾金陵女子高級中学との交流および台湾大学等の学生交流	台湾	4日間
TOEICの講習と検定受検、英語活用の実践としてオーストラリア語学研修	オーストラリア	2週間

留学生インタビュー

私が見た大阪成蹊大学

ミハイリチェンコ・マクシムさん(ロシア出身)

大阪成蹊大学 芸術学部

インテリア・プロダクトデザインコース2年

大阪成蹊大学は平成26年、平成27年に2年連続で就職率の高さや手厚い留学生サポートが評価され、「留学生に勧めたい進学先」として日本語教育振興協会主催の「日本留学アワーズ」の入賞校に選出されています。

現在も数多くの留学生が大阪成蹊大学で学んでおり、今号では芸術学部2年生のミハイリチェンコ・マクシムさんに日本を、そして大阪成蹊大学をどんな風に感じているのかインタビューを通してお話を伺いました。

——ご出身と来日の動機は？

ロシアのサンクトペテルブルクから来ました。日本の古い建物(木造建築)に興味を持ち来日しました。

——大阪成蹊大学を選んだ理由は？

大阪にある日本語学校で一緒だった中国人の友人からこの学校を紹介されました。実際に学校見学に行くと、大阪成蹊での勉強内容に魅力を感じ入学を決めました。

——日本に来ていちばん驚いたことは？

見る自然がすべてロシアと違ったことに驚きました。特に竹を人生で初めて見ました。また日本はとても清潔で安全な国だと思いました。電車の中で荷物を棚に



置いたまま寝てしまっても大丈夫なくらい治安が良いことにもびっくりしました。

——今はどちらにお住まいですか？

京都の祇園と五条の間にある古い民家に住んでいます。築70年の古い家屋ですので手入れが大変ですが、気に入っています。

さまざまな学生と交流し
自らの成長を感じる日々

——大阪成蹊大学に留学してよかったことは何ですか？

もともと建築(木造建築)に興味があって来日し大阪成蹊大学に入学しましたが、建築関連以外の授業も楽しく、いろいろなものを作り、いろんなジャンルのデザインに関わることができます。また芸術学部以外の学生とも交流があって、自分が日々成長していると感じられることです。

——将来の夢を教えてください

デザインが好きなので、将来はプロダクトデザイナーか建築デザイナーになりたいです。物が生活を楽しみし、便利にします。自分がいなくなってもその作品、製品が長く使われるようないい物を作るのが夢です。

——好きなデザイナー、建築家は？

デザイナーではマーク・ニューソンさん、建築家では安藤忠雄さん、坂茂(ばん しげる)さんが好きです。日本人の建築家は狭いところでもいいものを作ることがすごいと思います。

——大阪成蹊大学への留学を考えている学生さんにメッセージをお願いします

大阪成蹊大学の先生は豊富な専門知識を持っているので、この大学で勉強すれば専門的な分野で成長できると思います。また、他学部の友人ともいろんな活動ができます。困ったときは留学生支援センターの皆さんにもいろいろ相談に乗ってもらえるので心強いですよ。

18歳参政権についての 大阪成蹊大学の取り組み

マネジメント学部長・教授 杉原充志



大阪成蹊大学では、選挙権年齢が18歳に引き下げられてから初めて実施される7月10日の国政選挙(参議院議員選挙)を前に、これまで選挙権のなかった学生たちに投票の重要性を理解し、「自分たちの声を政治に届

ける」という主権者意識を持ってもらえるようにさまざまな活動を行いました。

6月1日付で学長名の「18歳選挙権の導入について」と題する通知文書を全学生(大学・短期大学)に配付し、

総務省の参議院議員選挙ポスターも学内各所に掲示しました。また、投票を呼びかける横断幕も、地元の選挙管理委員会により相川キャンパスの本館屋上フェンスに設置され、学生が主権者意識を持ち投票に参加するような啓蒙活動を行いました。

さらに、公示日翌日の6月23日には、相川キャンパスに(株)毎日放送の大谷邦郎氏をお招きし、マネジメント学部主催で「18才で選挙権を持てた意味!？」と題する特別講演会を開催しました。今回、講師をお願いした大谷氏は、経済分野を中心に長年の報道現場での経験に加えて、近年は若者のキャリア教育の分野でも積極的に発言されています。会場となった図書館棟7階ホールには、マネジメント学部の新入生を中心に200名を超える学生が集まり、武蔵野学長はじめ関係教職員も聴衆に加わる中、持ち味の軽妙なトークで、わかりやすくお話いただきました。具体的な数字も挙げながらの「なぜ、君たちが投票に行かなければならないのか?」という熱いメッセージは、学生たちの心に深く印象に残ったようでした。特に、高齢者の意見が政治に反映されやすい「シルバーデモクラシー」という現象が、大学生の将来にどのような影響を与えていくのかという話や、学生たちにも関心の深い奨学金の返済問題の話など、学生たちの主権者意識が高まる講演でした。

6月29日には大谷氏による講演会をびわこ成蹊スポーツ大学でも開催し、学園全体として、学生たちと選挙の意義について理解を深めることができました。

3人の女性アスリートから 力強いメッセージ

スポーツセミナーを開催



平成28年7月2日(土)に2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における大学連携事業の一環として「スポーツで叶える夢～女性オリンピックと語ろう～」と題したスポーツセミナーを実施しました。パネリストとして、アテネオリンピック女子マラソン金メダリストの野口みずきさん、シドニーオリンピック女子競泳銅メダリストの田中雅美さん、

シドニーオリンピックバドミントンダブルス代表の岩田良子さんをお迎えし、石田一洋アナウンサーの司会のもと、セミナーは大いに盛り上がりしました。

野口みずきさんの「目標に向かってモチベーションを持ち続けるメンタルの強さが必要」、田中雅美さんの「試合前に緊張するのはベストパフォーマンスが達成できる準備ができている証拠」、岩田良子さんの「目標に向かって頑張っている時の1分1秒を無駄にしないことが大切」など

のお話が印象に残りました。

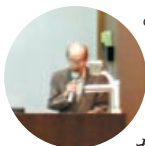
また3人のパネリストの方からオリンピックにまつわるエピソードも飛び出し、高校生をはじめとする聴衆の皆さんもぐいぐいと話に引き込まれていきました。最後に3人のパネリストの方から会場みなさんにメッセージが送られ、参加した多くの高校生のモチベーションアップにつながりました。

平成28年6月16日(木)大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学 生涯学習講演会「真田幸村の最期と子供たち」を開催しました。



大阪成蹊短期大学名誉教授 岡田保造氏を講師に招き、雨が降る中ではありましたが、北館3階プラムホールがほぼ満席となるほど、多くの方々にお越しいただきました。岡田先生による生涯学習講演会は大河ドラマの主人公をテーマとしており、今年で15回目となりました。リピーターの方も多く、「毎年楽しみにして来ている」というお声がかも数多くいただいています。

岡田先生は、毎年、本生涯学習講演会のために調査を繰り返し行われ、多くの資料を集められてご準備いただいています。「真田幸村」の名前で知られている真田信繁が、自身の子



ども宛に書いた手紙や、大阪冬陣記、難波戦記、薩藩旧記、三河物語など様々な書物から引用された文章を時間軸で整理し、年表としてまとめられた資料をもとに今回の講演は行われました。

岡田先生が直接ヘリコプターから撮影された写真も含め、真田幸村ゆかりの地の写真や、真田幸村が活躍した戦の舞台の地図などをスライドで映し出しながら、戦を前に、日をおって真田幸村がどのような行動をとっていったのか臨場感あふれる講演内容でした。来場者の皆さんは、岡田先生が説明される内容を熱心に資料に書き込まれ、時には笑いも起こりながら、大変興味深く聞かれていました。

武勇伝のみならず、子どもたちを名家に嫁がせることになった真田幸村の武将としての信頼の厚さが伝わってきました。大阪の陣が終戦した時が、はじめて互版が発行された時だと言われており、当時から民の関心が多く寄せられた意味深い戦となったことなども語られました。

生涯学習講演会

『真田幸村の最期と子供たち』

開催



大阪成蹊短期大学附属

こみち幼稚園

動物とふれ合う写生会に参加

～生き物を大切にする心を育む～



6月5日(日)、大阪成蹊学園主催の「動物とふれ合う写生会」が開催されました。例年、この日は幼稚園も参加し、「こみち幼稚園コーナー」として遊びの場を提供しています。

今年も写生を終えた就学前の子どもたちが、お家の方と一緒に幼稚園コーナーに集まり、描いたり作ったりして遊びま

した。作ったものを身に付けて楽しんだり、そこで出会った友達とおしゃべりをしたりと、ブースの中は賑やかな歓声に包まれました。また、卒園した子どもたちも来場し、ブースの周辺で久しぶりに会った友達とはしゃいだり、お互いの成長ぶりを喜び合ったりと、ちょっとした同窓会の様相にもなっていました。

「動物とふれ合う写生会」では、普段、



間近で見ることができない動物を目にして、子どもたちはその姿や色・鳴き声・動きに驚いたり、不思議を感じたりと、興味津々です。「先生、見て。こんなの描いたよ」とか「フラミンゴを描いたよ」と画用紙いっぱいにかいた絵を見せてくれます。一方で、少し恥ずかしそうにそっと画用紙を広げて見せてくれる子どもたちもいます。そこには細い線ではありましたが、自分で感じたままに、かわいらしい「カメ」が4匹描かれていました。また、何色もの色を使ってぐるぐると「インコ」を描いた子は、「おはよう、ってしゃべってるところ」と自分で意味づけをしてうれしそうに話してくれました。

毎年、芸術学部の先生方や学生の皆さんのお力を借り、子どもたちにとって楽しい機会になっています。

「わー、きれい」「かわいいな」「おもしろいな」「すてきだな」と、実体験を通して、いろいろな感情が湧き上がり、描きたくなってくる。そのような自然な心の動きを大事にしたいと思っています。

今後も、学園をはじめ、芸術学部や教育支援センターの皆様と協力し、子どもたちにとって、豊かな経験ができる場がつけられるよう連携を深めていくことができればと思っています。

こみち幼稚園 園長 東藤弥生

就職に強い！大阪成蹊

2015年度も全国平均を上回る就職率

2016年3月大阪成蹊学園卒業生の就職率が確定しました。相川キャンパスの就職率(就職者数/就職希望者数)は大阪成蹊大学では98.2%(大学全国平均97.3%)、大阪成蹊短期大学では99.4%(短期大学全国平均97.4%)となり、今年度も多くの学生の進路希望を実現することが出来ました。また、就職希望率(就職希望者数/卒業者数)は大阪成蹊大学では86.8%、大阪成蹊短期大学では92.9%となりました。どちらも全国平均(四年制大学74.0%、短期大学81.3%(文部科学省調査))を上回り、本学学生の就職意欲の高さが表れています。

今年度も就職活動が始まる前の早い時期に「就活キックオフセミナー」や「就活本格化セミナー」を開催しました。学生はこのイベントに参加することで、就職活動の流れや成功のためのポイントを理解し、活動に向けての意欲を高めることができます。

一人ひとりに個別サポート

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学では、各学部学科ごとに就職部担当スタッフを配置し、一人ひとりの状況に合わせた就職サポートを行っています。学生は就職活動の準備段階から頻繁に就職部を訪れ、担当スタッフ

とともに就職活動を進めていきます。就職活動開始から終了までに四大学生は1人あたり約20回、短期大学生は1人あたり約13回の面談を就職部で実施しています。

相川キャンパスでは学内にて「合同企業説明会」を2ヶ月に1度、「個別企業説明会」をほぼ毎週のペースで開催しており、学生はキャンパスに居ながらにして多くの企業と接点を持つことができます。2015年度は241社の企業を学内に招致し、これらの企業から235人もの学生が内定を得ることができました。

びわこ成蹊スポーツ大学においても万全の体制で就職サポートを実施しています。2016年3月卒業生の就職率は98.7%、就職希望率は87.1%となり、今年も企業や公務員、教員として多くの優秀な学生を社会に送り出すことができました。2016年3月16日(水)には大阪成蹊大学・びわこ成蹊スポーツ大学・大阪成蹊短期大学の合同企画・運営による「学園内合同企業説明会」を相川キャンパスにて開催し、577名の学生が参加しました。58の参加企業・団体が図書館棟1～3階及び本館・中央館にブースを設け、学生は興味のあるブースを訪問して話を聞き、業界・企業に対する理解を深めていました。

就職部では今年度も教職員一丸となり、学生一人ひとりの希望進路を実現できるようサポートしてまいります。



大阪成蹊学園 2016年3月卒業生実績

	就職率 (就職者数/就職希望者数)	対全国平均*	就職希望率 (就職希望者数/卒業者数)	対全国平均*
大阪成蹊大学	98.2%	+0.9ポイント	86.8%	+12.8ポイント
びわこ成蹊スポーツ大学	98.7%	+1.4ポイント	87.1%	+13.1ポイント
大阪成蹊短期大学	99.4%	+2.0ポイント	92.9%	+11.6ポイント

*全国平均は文部科学省調査にもとづく

大阪成蹊学園蹊友会新会長に藪田一子氏



平成28年6月11日(土)に大阪成蹊学園 蹊友会総会が開催され、新会長に藪田一子氏が就任しました。藪田新会長は学校法人大阪成蹊学園理事、大阪成蹊短期大学児童教育学科教授、大阪成蹊短期大学附属こみち幼稚園園長を歴任され、今年度の蹊友会新会長就任となりました。

ホームページをリニューアル

☐ スマホにも対応しました。



大阪成蹊大学ホームページTOP



特色ある教育内容や就職支援も紹介



7月4日(月)、大阪成蹊大学・びわこ成蹊スポーツ大学・大阪成蹊短期大学のホームページをリニューアルしました。スマートフォン、タブレット端末等にも対応し、これまでより各大学の情報が見やすくなっています。9月には学園ホームページも新しくなります。ぜひご覧下さい。

大阪成蹊全国アート&デザインコンペティション2016

作品募集

大阪成蹊学園では、未来のための人材発見を目的として、大阪成蹊大学芸術学部、大阪成蹊女子高等学校美術・イラスト・アニメーションコースとの共催による「第6回大阪成蹊全国アート&デザインコンペティション2016」を開催します。

また、授賞式を11月19日(土)に開催し、受賞作品を学内ギャラリーにて11月19日(土)～12月4日(日)の間、展示・公開いたします。

テーマから連想するものを題材として、自由に発想した作品を募集

未来への発信



募集期間：平成28年9月1日(木)～10月6日(木)

対象：【高校生の部】国内に在住する高校生

【中学生の部】国内に在住する中学生

詳細：HP(URL) <http://univ.osaka-seikei.jp/news/4>

オープンキャンパス・オープンスクール開催報告

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学



過去最多の来場者数を記録

6月12日(日)、大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学で開催されたオープンキャンパスでは、雨予報の中、たくさんの高校生や保護者にご参加いただき、約1,000人にご来場いただきました。

体験しながら本学の学びを知る体験イベントには特に人気があり、わらびもちやイタリアンオムレツの調理実習、オリジナルトートバッグ作成のワークショップなど、楽しみながら本学の学びを知っていただく機会となりました。



今後の日程 8/7、21、28㊥、9/25㊥、12/18㊥
10:00～15:00

びわこ成蹊スポーツ大学



オリンピックイヤー特別企画盛りだくさん

6月19日(日)、今年1回目のオープンキャンパスは昨年を上回る300名近い方々にご来場いただきました。オリンピックイヤーの今年は特別講演などを毎回開催。第1回目はオリンピックメダリストの奥野史子客員教授による特別講演を開催しました。

学びの内容を紹介するコース別プレゼンやクラブ活動を体験できるスポーツクリニックにも多くの方にご参加いただき、本学ならではの学びを紹介しました。



今後の日程 8/20㊥、28㊥、12/10㊥
9:30～15:00

大阪成蹊女子高等学校



オープンスクール大盛況！迫力のコンサートも

6月25日(土)、大阪成蹊女子高等学校の今年度最初のオープンスクールを実施しました。第2会場を使用するほどたくさんの中学生と保護者にご来場くださり、本校の特色あるコースやグローバル教育についての説明を聴いていただきました。

次回以降は、クラブ見学や在校生が実演するブラックライトシアターなどのオプション企画も実施します。



吹奏楽部によるミニコンサート

今後の日程 8/20㊥、9/24㊥、10/22㊥、
11/5、26㊥、12/10、17㊥
13:30～16:30 ★8/20のみ10:00～13:00